

ゆず肌仕上げ
施工の手引き

適用品番

ジョリパットインフィニティ[∞] JQ-500シリーズ

【初版】平成24年 4月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー	15kg/缶	約75~100㎡
	セーフシーラー JS-800	1液水系がけシーラー	16kg/缶	約80~106㎡
主材	ジョリパットインフィニティ∞シリーズ 標準色 JQ-500T (□…数字) 特注色 JQ-500 (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ バケツ	約11㎡

※セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25㎡/セット)

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい(モルタル⇒JS-500、JS-800、石膏ボード⇒JS-90など)。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

<主な施工道具>

- ・ジュラク・リシガン 口径 4~6mm
(推奨ガン)
トヨオカ製作所 ジュラクガン
アネスト岩田(株) リシガン固定 MG-1D
- ・コンプレッサー 2.2kW(3馬力)以上
(1台使用の場合)

<下地調整>

モルタル(金ゴテ押え)など。

<ゆず肌仕上げ施工方法>

1. シーラー塗

・ JS 410 の場合

配 合	J S - 4 1 0	1 5 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

・ JS 800 の場合

配 合	J S - 8 0 0	1 6 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下吹き

配 合	J Q - 5 0 0 シ-ズ	2 0 k g
	清 水	1 ~ 2 崙
塗 布 量	1 . 1 k g / m ²	
吹 圧 力	6 ~ 7 k g f / cm ²	
施工道具	ジュラクリンガン 口径 4 ~ 6 mm	
	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ平滑になるように吹き付け。 ・凹凸が激しい場合、仕上がりが悪くなります。 	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

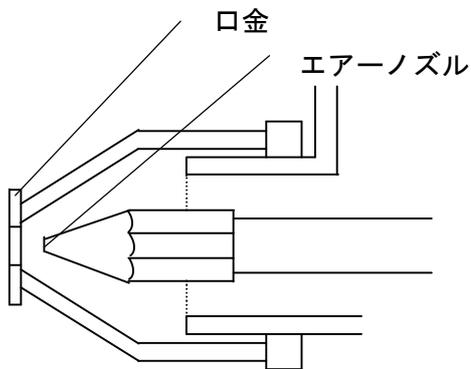
◎完全に乾燥したことを確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上吹き

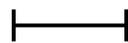
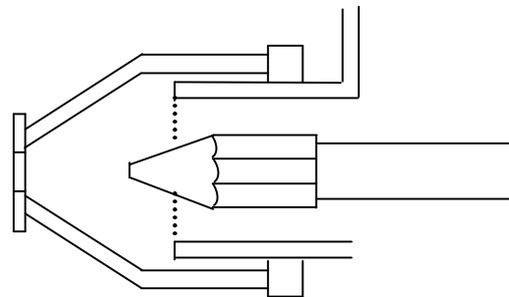
配 合	J Q - 5 0 0 シ-ズ	2 0 k g
	清 水	0 . 5 ~ 1 崙
塗 布 量	約 0 . 7 k g / m ²	
吹 圧 力	5 ~ 7 k g f / cm ²	
施工道具	ジュラクリンガン 口径 4 ~ 6 mm	
	水希釈しすぎないように注意。	

<施工のポイント>

- ・材料の出る量をおさえてチラシて吹いてください。
- ・水を規定量以上入れないようにしてください。吹きムラやクレーターの原因になります。
- ・ガンの口径と吹き圧力を厳守してください。仕上がり異常やムラの原因となります。
- ・塗布量についても厳守してください。クレーターや仕上がり異常の原因となります。
- ・エアーノズルと口金部分の距離は1～3mmを推奨します。4mm以上離れると、意匠の粒が大きくなり、ムラや仕上がり不良の原因となります。



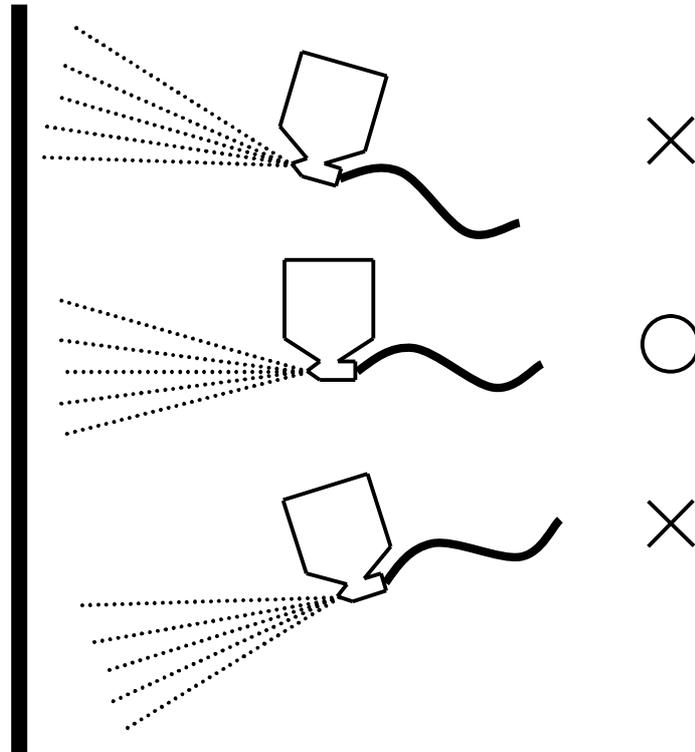
1～3mm



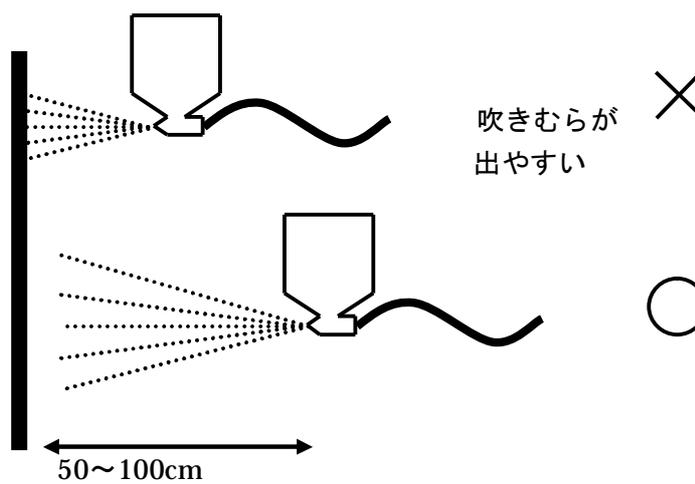
4mm 以上

×

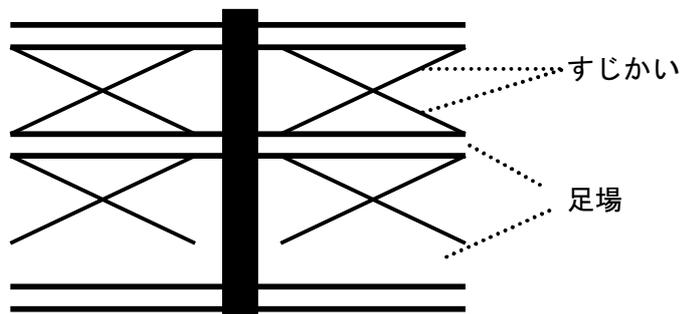
- ・吹き付け時、ガンは壁面にまっすぐ向けて吹くようにしてください。斜め吹きをしますと意匠(噴出す樹脂の玉の形状)が変わり、ムラなどにみえることがあります。斜め吹きが必要な場合は、吹き圧などで微調整して吹きつけてください。



- ・ガンを壁面に近すぎるとクレーターやムラが出来やすくなります。50~100cmが目安です。



※足場のすじかい部分では、吹きムラがしやすい為、特に塗布量には注意。



- ・斜め吹きする部分が多くなります。
- ・ガンと壁面との距離がとれないことがあります。

<施工の注意事項>

- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
下では JPW -100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上